

学報

第443号

平成20年1月号

平成20年2月15日

東京芸術大学

(事務局総務課発行)

目次

諸報

- ・新年賀詞交歓会の実施について 2
- ・「国際交流デザイン展－日本・イギリス・韓国－」
の開催について 2
- ・先端芸術表現科卒業修了作品展について ... 3
- ・「技と工芸感」展の開催について 4
- ・映画専攻制作作品『夕映え少女』の上映につ
いて 4
- ・「黒田清輝から藤田嗣治まで～パリに学んだ洋
画家たち～」展の終了について 5
- ・スクエア・ピアノ修復完成返還式の開催につ
いて 5
- ・演奏会等の実施について 6
- 創立120周年記念音楽祭
その時、西洋では！～東京音楽学校創立期とそ
の周辺のピアノ作品～
日本近代音楽史に見る伝統の響き
日本の弦楽教育・草分けの時代
藝大プラスの醍醐味・蘇るサウンド
黎明期の日本声楽曲
オーケストラ・コンサート「藝大120年をふり返
って」
- ・職員研修 8

学内規則等

- ・東京芸術大学芸術情報センター教員の任期更新
時の再任評価実施要項の決定について 9
- ・東京芸術大学理事室規則の一部を改正する規則
について 11

諸会議

事務局

- ・出版局・出版会（1月8日） 13
- ・役員会（1月9日） 13
- ・安全衛生委員会（1月16日） 13
- ・教育研究評議会（1月17日） 13
- ・役員会（1月17日） 13
- ・国際交流室（1月18日） 14
- ・企画・評価室（1月23日） 14
- ・経営協議会（1月24日） 14
- ・役員会（1月24日） 14
- ・研究推進室（1月24日） 14
- ・広報室（1月28日） 15

美術学部

- ・美術学部人事委員会（1月8日） 15
- ・美術学部教務委員会（1月8日） 15
- ・美術学部運営委員会（1月8日） 15
- ・美術学部入試運営委員会（1月10日） 15
- ・大学院美術研究科委員会（1月10日） 15
- ・美術学部教授会（1月10日） 15
- ・美術学部学生生活委員会（1月17日） 16
- ・美術学部附属古美術研究施設運営委員会
（1月18日） 16
- ・美術学部卒展運営委員会（1月21日） 16
- ・写真センター運営委員会（1月23日） 16
- ・取手校地運営委員会（1月31日） 16

音楽学部

- ・音楽学部運営会議（入試）（1月10日） 16
- ・音楽学部教務委員会・学位委員会
（1月10日） 16
- ・音楽学部芸術活動推進委員会（1月10日） 17
- ・音楽学部教授会（含・研究科委員会）
（1月10日） 17
- ・音楽学部運営会議（運営・人事）（1月24日） 18
- ・音楽学部芸術活動推進委員会（1月24日） 18
- ・音楽学部教務委員会・学位委員会
（1月24日） 18

大学院映像研究科

- ・大学院映像研究科教授会（1月10日） 18

大学美術館

- ・大学美術館運営委員会（1月17日） 19

藝大アートプラザ

- ・藝大アートプラザ企画推進室（1月17日） 19

- 大学日誌 20

諸 報

— 新年賀詞交歓会の実施について —

1月4日（金）11時より大学会館で、平成20年新年賀詞交歓会が開催され、教職員合わせて約200名が参加した。

宮田亮平学長の年頭の挨拶と荒川明照名誉教授の発声による乾杯の後、立食形式の会場で歓談が行われ、後半には、今年の干支である亥年生れの教職員を含む有志20名ほどが大杯による乾杯を行った。



◇ 学長年頭挨拶 ◇

みなさまあけましておめでとうございます。

今年度、先生方や事務職員、学生たちが一丸となって進めてきた創立120周年記念事業も、残すところ3ヶ月となりました。芸術の素晴らしさを日本に、そして世界に伝えてきた事業には、「東京芸術大学ここにあり」とも言うべき大きな反響がありました。改めて、みなさまにお礼申し上げます。

あと三ヶ月で記念事業は一つの幕を閉じますが、まさにその後、東京芸術大学の発展のために何ができるか、それが私たちに課された大きな課題であります。法人化を迎えた本学は、いろいろな意味で荒波にさらされておりますが、「貧すれば鈍する」ではなく、むしろ清貧に生き、この器の中でできること、あるいは外資を導入してできることを社会に向けて次々と発信していきたい。これは一人ではできないことではなく、「東京藝大愛」の下、成り得るものではないかと思えます。私たちの使命はそのようなものであり、ときめきに溢れ、信頼で結ばれた社会を、芸術を通して日本そして世界に広げていくことではないかと考えています。

ぜひとも先生方、事務職員、そして次の時代を担う学生たちとともに、明日への喜びを感じていきたいと思えます。どうぞお力をください。ありがとうございました。

— 「国際交流デザイン展—日本・イギリス・韓国—」の開催について —

1月10日（木）から20日（日）まで、「国際交流デザイン展—日本・イギリス・韓国—」が陳列館で開催された。デザイン科では、UCCA芸術大学（イギリス）、中央大学校（韓国）とともに学生作品の交流展を2006年から行っており、本展はその2回目。

各国の授業に関する情報交換を通じて交流を深め、互いのデザイン教育をさらに充実させることを目的に始められた本企画は、一年ごとに、各国の学校で考えられた課題テーマに従って、学生たちが10～15



点の作品を制作し、データ交換により作品を集結させ、各国で展覧会を開催している。作品の形式は

自由で、平面、立体、映像、インスタレーションなどとむしろ違った方がそれぞれの国の教育実態が浮き彫りになるという特色を持つ。

今回は、UCCA芸術大学の授業課題「Places and Spaces I Have Never Been」のもと、デザイン科3年生45人全員が制作を行い、UCCA芸術大学、中央大学校、本学の学生全員の作品が陳列館に展示された。

2008年度の第3回交流展は、中央大学校からの授業課題をテーマに予定している。

本企画は、東京芸術大学創立120周年記念企画。

— 先端芸術表現科卒業修了作品展について —

1月19日(土)から27日(日)まで、「project the projectors 2008 先端芸術表現科卒業制作展」と「東京芸術大学先端芸術表現専攻修了制作展」が、それぞれ横浜のBankART Studio NYKとZAIM(旧大蔵省関東財務局横浜財務事務所)を会場に開催された。

「project the projectors」とは、“企画者”である“projector”たちが、自らをさらに前方に(pro)投げる(ject)ことを表しており、自らをプロジェクトンするという考え方に着想を得て、学生自身の投企の姿勢を示していると同時に、社会との関わりを見つめ表現を模索する投企者であるということ、外(社会)へ投げかけること、またそれは、世の中から自分へ投げかけられているものでもあるという思いを託している。

卒業生34名が作品制作と並行して企画・運営をも担う卒業制作展では、写真や絵画、映像やコンピュータを使った表現、身体を用いたパフォーマンス、空間そのものを表現の対象として扱うインスタレーションなど、多岐にわたる表現媒体による作品が4年間の研鑽の集大成として発表された。

一方、修了生28名による修了制作展では、前年度まで継承してきた「project the projectors」の展覧会タイトルを使用せず、「展覧会というフレームではなく、様々な問題が流れ込み、交差する作家自身の身体と「作品」という「表現の現場」が重要であるとして、出品者がそれぞれ独立した展示空間を提示しながら一つの展覧会を構成するという試みがなされた。



— 「技と工芸感」展の開催について —

1月22日（火）から2月3日（日）まで、「技と工芸感」展が台東区生涯学習センターで開催された。これは、地域文化の活性化と教育研究活動の地域還元を目的に、本学が昨年より台東区内各地で開催している地域連携事業「上野タウンアートミュージアム」の一環。区内の伝統工芸職人と、彫金・鍍金を専攻する美術研究科の大学院生らが交流を重ね、制作した作品を発表した。

会場に並んだ作品は、鼈甲に金箔を挟み込み、飴色に透ける風合いに新たな輝きを加えたジュエリーや、繊細な簾の機能美を身体にまとわせた装飾品、刷毛の中から優しい光を放つ照明器具など、ユニークなものばかり。皮革加工や鼈甲、提灯、桐箆笥など、大学の近くで息づく伝統技術の数々を再発見していった学生たちは、普段自分たちが扱っている素材や技術とはまったく異質なものだっただけに、戸惑いながらも、斬新で意外な成果を生み出した。

下町の歴史の中で生まれ、職人のあいだで鍛え抜かれた伝統的な「技」と、若い工芸家たちの瑞々しい「感性」との融合を目指したこの企画。商品開発を視野に入れた取り組みが来年度以降も引き続き行われる。

本企画は、東京芸術大学創立120周年記念企画。



— 映画専攻制作作品『夕映え少女』の上映について —

大学院映像研究科映画専攻二期生が制作した作品『夕映え少女』が、1月26日（土）から渋谷・ユーロスペースにて劇場公開された。

川端康成の短編集『夕映え少女』を原作に女性心理の機微を描いた4作品から成るこのオムニバス映画（「イタリアの歌」「むすめごころ」「浅草の姉妹」「夕映え少女」）の制作に当たっては、企画・資金調達・スタッフ編成・キャスティング・撮影・ポストプロ・宣伝など、映画製作上のほぼすべての実務を学生たちが行った。

2006年8月から本企画を始動させた製作領域の学生＝プロデューサーたちは、資金調達のために10社以上と交渉。その結果、ジェネオン エンタテインメント株式会社の出資を得、同社と本学とによる〈2007『夕映え少女』製作委員会〉を立ち上げ、同社からエグゼクティブ・プロデューサーとして柴田一成氏を招き、ビジネス・クリエイティブの両面においてアドバイスを受け、単なる金銭面での関係に留まらない、充実した産学連携企画が実現された。

また撮影スタッフには、撮影領域の学生に加えて、自主映画で活躍するクリエイターやプロを招いた混成チームを編成。音楽やアートディレクションなど、映画を構成する要所にはすべて、本学の学生（美術学部・美術研究科、音楽学部・音楽研究科）や卒業生が起用された。

— 「黒田清輝から藤田嗣治まで～パリに学んだ洋画家たち～」展の終了について —

昨年10月24日（水）からパリ日本文化会館で開催されていた“De Kuroda a Foujita, Peintres Japonais a Paris”が1月26日（土）閉幕した。本展は、日本国内展「パリへー洋画家たち百年の夢」を再編成したものだ。

日本の近代洋画が系統的にフランスに紹介されたのは、意外にも今回が初めてである。日本近代洋画の師コランはフランスでは忘れられた画家だが、日本人画家の山本芳翠、黒田清輝、浅井忠、和田英作、藤島武二、安井曾太郎、梅原龍三郎、佐伯祐三、坂本繁二郎、児島善三郎、藤田嗣治、岡本太郎の12人も、藤田を除けばみなフランスではほぼ無名といってよい。

パリ展においては、「東京美術学校・東京藝術大学関係者」という国内展の枠をはずし、日本画壇全体から人選したものの、結果的に非関係者は山本芳翠、児島善三郎、坂本繁二郎の3人にすぎず、洋画壇形成の初期における東京美術学校の重さを語っている。

本展は新聞、雑誌、ミニコミ誌など多様なメディアで紹介され、また長期の地下鉄ストに見舞われたにもかかわらず、オープニング来場者を含めて13,000名を超える入場者があった。日本の美術文化については今まで、江戸以前と現代とに分離した情報提供がなされていたので、今回のパリ展はその欠落部分を埋める効果があったといえよう。

本企画は、東京藝術大学創立120周年記念企画。

— スクエア・ピアノ修復完成返還式の開催について —

1月30日（水）、大学美術館エントランスホールにて、同館所蔵のチックリング社製スクエア・ピアノ修復完成返還式が行われた。このピアノは、1879年に文部省がアメリカから購入したピアノ十数台のうちの一台中、日本の洋楽教育の黎明期に使用されていたものと考えられている。全体的に破損した状態のまま保管されていたものを、ピアノの適切な保全管理について啓蒙活動を行い、その修復事業に取り組む社団法人日本ピアノ調律師協会の協力により5年がかりで復元修理され、往時の響きがよみがえった。同協会には、増村紀一郎大学美術館長から感謝状が贈呈された。

文字通り長方形をしたスクエア・ピアノは、19世紀に普及したピアノで、特にアメリカで大型のものが一時期量産された。明治初頭の日本にも輸入され、音楽取調掛や東京音楽学校など音楽教育の現場で使われたが、現存するものは非常に少なく、今回の復元修理は歴史的にも大変価値ある事業となった。

返還式では修復工程が映像を交えて解説され、修復前の波打つように破損し乱れた鍵盤や、色褪せて輝きを失った概観が映ると会場からは大きな溜息がもれ、改めて復元された現在の姿に感嘆の声があがった。

鍵盤や響板など残存するものはできるだけ使用し、また、脚、屋根、譜面台、ハンマーなど紛失した部品はオリジナルに近いものを新たに制作して復元されたスクエア・ピアノ。「先人が練習した楽器がよみがえり、感慨深い」と話す渡邊健二副学長の演奏により、実際にその音色が披露された。

本格的なお披露目は、現在の教員と学生が1898年の演奏会の再現を試みる「東京音楽学校第1回定



期演奏会再現コンサート」(2月20日(水)、21日(木))でされる。かつて瀧廉太郎が弾いたJ.S.バッハ《イタリア協奏曲》のピアノ独奏をはじめ、19世紀末の日本の洋楽界を彷彿とさせる楽曲を二日間にわたって奏でる予定。

— 演奏会等の実施について —

- ◆ 創立120周年記念音楽祭 その時、西洋では！～東京音楽学校創立期とその周辺のピアノ作品～
- 日 時 : 2008年1月4日(金) 14:00開演
 会 場 : 旧奏楽堂
 入 場 料 : 3,000円(全席自由)
 主 催 : 東京芸術大学、東京芸術大学音楽学部、東京芸術大学演奏芸術センター
 共 催 : 台東区、財団法人台東区芸術文化財団、東京芸術大学音楽学部同声会
 曲 目 : グリーグ 抒情小品集 Pf. 松本 和将
 チャイコフスキー ドゥムカ Pf. 有森 博
 スクリャービン 3つの小品より Pf. 有森 博
 ブラームス 幻想曲集 Pf. 迫 昭嘉
 ドビュッシー 小組曲(連弾) Pf. 高良 芳枝、井上 二葉
 フォーレ 舟歌第4番
 夜想曲第5番 Pf. 橘高 昌男
 フランク 前奏曲、コラールとフーガ Pf. 野原みどり
- 当日の観客数 : 301名(全座席数338席)
- ◆ 創立120周年記念音楽祭 日本近代音楽史に見る伝統の響き
- 日 時 : 2008年1月4日(金) 17:00開演
 会 場 : 東京芸術大学 奏楽堂
 入 場 料 : 3,000円(全席自由)
 主 催 : 東京芸術大学、東京芸術大学音楽学部、東京芸術大学演奏芸術センター
 共 催 : 台東区、財団法人台東区芸術文化財団、東京芸術大学音楽学部同声会
 出 演 : 東京芸術大学教員、卒業生、学生
 曲 目 : 長唄《新一つとや》 久保田万太郎作詞/山田抄太郎作曲
 藤原 睦子、浅見 文子、三浦 正義ほか、全46名
 山田流箏曲《江の島曲》 山田検校作曲、四代萩岡松韻十七弦手付
 萩岡 松韻、井口 法能、鈴木 厚一ほか、全99名
 日本舞踊 清元《青海波》 永井素岳作詞/二世清元梅吉作曲
 花柳 寿美、五條雅之助、吾妻 節穂ほか、全17名
 生田流箏曲 交声曲《日蓮》 佐野前光作詞/宮城道雄作曲
 安藤 政輝、山本 泰正(邦山)、藤本 隆文ほか、全73名
 能楽 観世流 舞囃子《屋島》 世阿弥作
 関根 知孝ほか、全9名
 能楽 宝生流 半能《高砂》 世阿弥作
 武田 孝史ほか、全17名
- 当日の観客数 : 817名(全座席数1,140席)
- ◆ 創立120周年記念音楽祭 日本の弦楽教育・草分けの時代
- 日 時 : 2008年1月5日(土) 14:00開演
 会 場 : 旧奏楽堂
 入 場 料 : 3,000円(全席自由)
 主 催 : 東京芸術大学、東京芸術大学音楽学部、東京芸術大学演奏芸術センター
 共 催 : 台東区、財団法人台東区芸術文化財団、東京芸術大学音楽学部同声会

出 演 : Vn. 玉井 菜採、Pf. 大橋 雅子、Vn. 漆原 朝子、Va. 川崎 和憲
Pf. 鈴木 慎崇、Vn. 浦川 宜也、Vc. 河野 文昭
Vn. ジェラルド・プーレ、Pf. 多 美智子

曲 目 : ヴュータン ファンタジア・アパッショナータ
ヴィエニヤフスキ レゲンデ
A. ルビンシテイン ヴィオラ・ソナタ
幸田延 ヴァイオリン・ソナタ ニ短調 変ホ長調
ヴェルクマイスター チェロのための作品集より
グリーク ヴァイオリン・ソナタ第2番

当日の観客数 : 278名(全座席数338席)

◆ 創立120周年記念音楽祭 藝大ブラスの醍醐味・蘇るサウンド

日 時 : 2008年1月5日(土) 17:00開演

会 場 : 東京芸術大学 奏楽堂

入 場 料 : 2,000円(全席自由)

主 催 : 東京芸術大学、東京芸術大学音楽学部、東京芸術大学演奏藝術センター

共 催 : 台東区、財団法人台東区芸術文化財団、東京藝術大学音楽学部同声会

出 演 : 東京藝術大学教員、卒業生、学生

曲 目 : ヴァーグナー 楽劇《ニュルンベルクのマイスタージンガー》より
第1幕への前奏曲(木村吉宏編曲)
ホルスト 組曲第2番
レスピーギ 交響詩《ローマの松》(木村吉宏編曲)

当日の観客数 : 649名(全座席数1,140席)

◆ 創立120周年記念音楽祭 黎明期の日本声楽曲

日 時 : 2008年1月6日(日) 14:00開演

会 場 : 旧奏楽堂

入 場 料 : 2,000円(全席自由)

主 催 : 東京芸術大学、東京芸術大学音楽学部、東京芸術大学演奏藝術センター

共 催 : 台東区、財団法人台東区芸術文化財団、東京藝術大学音楽学部同声会

出 演 : 歌: 大学院生13名
Pf. 奥 千歌子、東井 美佳、鈴木真理子
箏: 石井まなみ、安藤 珠希

曲 目 : 第1部 音楽取調掛編纂『小学唱歌集』第二編(明治16年)、第三編(明治17年)よりF. エッケルト編曲(箏による和声づけ1883-85)と、その原曲
唱歌《霞か雲か》(第二編第三十五)(Mez、箏)
原曲《鳥たちは皆そこにいて》
(ドイツ民謡《いまや僕はこのように旅をして》)(Sop、Pf)ほか

第2部 お雇い外国人教師の作品
H. ヴェルクマイスター、R. デイットリヒ、R. v. ケーベル

第3部 日本人作曲家の作品
幸田延、瀧廉太郎、山田耕筰

当日の観客数 : 254名(全座席数338席)

◆ 創立120周年記念音楽祭 オーケストラ・コンサート「藝大120年をふり返って」

日 時 : 2008年1月6日(日) 17:00開演

会 場 : 東京芸術大学 奏楽堂

入 場 料 : 3,000円(全席自由)

主 催 : 東京芸術大学、東京芸術大学音楽学部、東京芸術大学演奏藝術センター

共 催 : 台東区、財団法人台東区芸術文化財団、東京藝術大学音楽学部同声会

指揮 : 小林研一郎
出演 : Sop. 林 康子、Alt. 伊原 直子、Ten. 吉田 浩之、Bar. 福島 明也
東京藝術大学創立120周年記念合唱団&オーケストラ
曲目 : J. S. バッハ 前奏曲とフーガ BWV552/1ほか Org. 鈴木 雅明
L. v. ベートーヴェン 交響曲第9番《合唱付き》
当日の観客数 : 1,027名(全座席数1,140席)

— 職員研修 —

- 1 研修名 : 関東地区行政管理・評価セミナー
期間 : 平成20年1月11日
主催 : 総務省関東管区行政評価局
会場 : さいたま新都心合同庁舎
参加者 : 長岡 信幸
- 2 研修名 : 国立大学法人損害保険ブロック説明会
期間 : 平成20年1月29日
主催 : 有限会社国大協サービス
会場 : 日本教育会館一ツ橋ホール
参加者 : 成塚 静男、小林 丈則、小林 和則、田野邊 和也、小山 恵子
- 3 研修名 : 大学、独法の人事担当者の実務に役立つ労働法セミナー
期間 : 平成20年1月31日
主催 : 株式会社シー・イー・アイ
会場 : ちよだプラットフォームスクウェア
参加者 : 丸山 純一、田野邊 和也

学内規則等

◎東京芸術大学芸術情報センター教員の任期更新時の再任評価実施要項の決定 について

○東京芸術大学芸術情報センター教員の任期更新時の再任評価実施要項

平成19年12月10日

芸術情報センター運営委員会決定

(趣旨)

第1 この実施要項は、東京芸術大学における大学教員の任期に関する規則第7条の規定に基づき、芸術情報センター教員の任期更新時における再任評価（以下「再任評価」という。）の実施に関し、評価項目、評価基準及び評価の実施手順等の必要な事項を定める。

(評価項目)

第2 評価項目は、次のとおりとする。

- 1 研究業績
- 2 教育業績
- 3 大学運営上の貢献
- 4 社会貢献
- 5 その他

(評価基準)

第3 第2で示した項目の評価は、別紙1により行うものとする。

- 1 更新可とする者は、各項目評価において、「A」が1つ以上又は「B」が3つ以上ある者とする。

(再任評価の実施手順)

第4 再任評価の実施手順は、次のとおりとする。

- 1 教員は、任期の付されている期間の活動状況を基に業績調書（別紙2）を作成し、任期満了の1年5月前までに芸術情報センター長（以下「センター長」）に提出するものとする。
- 2 センター長は、芸術情報センター運営委員会において再任評価の審議を1年4月前までに行うものとする。
- 3 芸術情報センター運営委員会の審査結果に疑義が生じた場合（再任不可を含む。）は、センター長が複数の外部委員を含む再任評価審査委員会を設置し、審査を付託するものとする。
- 4 センター長は、芸術情報センターの再任評価の審査結果を1年2月前までに学長へ報告するものとする。

附 則

この要項は、平成19年12月10日から施行する。

別紙1

再任評価基準

1. 評語

A：特に優れている
B：水準に達している
C：改善を要する

2. 評価項目

項目	A	B	C
(1) 研究業績			
(2) 教育業績			
(3) 大学運営上の貢献			
(4) 社会貢献			
(5) その他			

※再任を可とされる者

次に掲げる者は、再任評価基準に達した者とする。

- ①評価項目において、「A」が1つ以上ある者
- ②評価項目において、「B」が3つ以上ある者

上記の①又は②の基準に達しない者は、再任評価審議委員会で審議を要する者とする

別紙2

業績調書

平成 年 月 日現在
氏名 印

1. 研究業績（創作活動、著書、発表論文等）
2. 教育業績（担当授業科目、担当学生数等）
3. 大学運営上の貢献（委員会等活動等）
4. 社会への貢献（教育・研究活動、地域・国際活動、共同・受託研究等）
5. その他（上記項目以外の特記事項等：センターにおけるマネジメント等含む。）

※各項目について細分できない場合、複数項目の記入及び任期の付されている期間外からの活動が続いている場合はその旨記載すること。

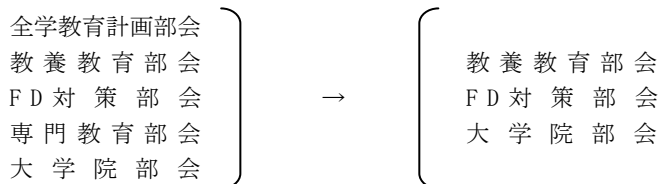
◎東京芸術大学理事室規則の一部を改正する規則について

(改正理由)

教育推進室の抱えている諸問題について、慎重な審議及び迅速な実施を図るため、専門部会を整理統合する。

(主な内容)

教育推進室に設置されている5つの専門部会を3つに整理する。



(審議経過)

- 平成19年11月22日 教育推進室
- 平成20年1月8日 事務協議会
- 平成20年1月17日 教育研究評議会
- 平成20年1月17日 役員会

○東京芸術大学理事室規則の一部を改正する規則 新旧対照表

新	旧												
<p>○東京芸術大学理事室規則</p> <p>(略)</p> <p>(任務)</p> <p>第2条 理事室は、理事を補佐し、次の各号に掲げる任務を行う。ただし、東京芸術大学学長特命規則（以下「学長特命規則」という。）の規定により、学長特命が学長の指示する理事室の任務を所掌する場合には、学長特命を補佐するものとする。</p> <p>(1) 当該理事の職務に係る別表に掲げる事項についての、企画立案及びその実施並びに推進に関すること</p> <p>(略)</p>	<p>○東京芸術大学理事室規則</p> <p>(略)</p> <p>(任務)</p> <p>第2条 理事室は、理事を補佐し、次の各号に掲げる任務を行う。ただし、東京芸術大学学長特命規則（以下「学長特命規則」という。）の規定により、学長特命が学長の指示する理事室の任務を所掌する場合には、学長特命を補佐するものとする。</p> <p>(1) 当該理事の職務に係る別表に掲げる事項についての、企画立案及びその実施並びに推進に関すること</p> <p>(略)</p>												
<p>別表(第2条関係)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">理事室</th> <th style="width: 65%;">理事室の任務</th> <th style="width: 20%;">庶務担当</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">教育推進室</td> <td> <u>1 教養教育部会</u> ・教養教育に関すること <u>2 FD対策部会</u> ・授業内容、方法等の改善・向上に関すること <u>3 大学院部会</u> </td> <td style="text-align: center;">入試・学務課</td> </tr> </tbody> </table>	理事室	理事室の任務	庶務担当	教育推進室	<u>1 教養教育部会</u> ・教養教育に関すること <u>2 FD対策部会</u> ・授業内容、方法等の改善・向上に関すること <u>3 大学院部会</u>	入試・学務課	<p>別表(第2条関係)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">理事室</th> <th style="width: 65%;">理事室の任務</th> <th style="width: 20%;">庶務担当</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">教育推進室</td> <td> <u>1 全学教育計画部会</u> ・教育内容等に関すること ・教育の実施体制に関すること <u>2 教養教育部会</u> ・教養教育に関すること <u>3 FD対策部会</u> </td> <td style="text-align: center;">入試・学務課</td> </tr> </tbody> </table>	理事室	理事室の任務	庶務担当	教育推進室	<u>1 全学教育計画部会</u> ・教育内容等に関すること ・教育の実施体制に関すること <u>2 教養教育部会</u> ・教養教育に関すること <u>3 FD対策部会</u>	入試・学務課
理事室	理事室の任務	庶務担当											
教育推進室	<u>1 教養教育部会</u> ・教養教育に関すること <u>2 FD対策部会</u> ・授業内容、方法等の改善・向上に関すること <u>3 大学院部会</u>	入試・学務課											
理事室	理事室の任務	庶務担当											
教育推進室	<u>1 全学教育計画部会</u> ・教育内容等に関すること ・教育の実施体制に関すること <u>2 教養教育部会</u> ・教養教育に関すること <u>3 FD対策部会</u>	入試・学務課											

	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院教育に関すること 4 その他 ・教育内容等に関すること ・教育の実施体制に関すること ・専門教育（実技、発表会等）に関すること ・入学試験に関すること ・附属音楽高等学校との連携（教育面）に関すること ・生涯教育（公開講座等）に関すること ・教育推進に係る各部局等との連絡調整に関すること 			<ul style="list-style-type: none"> ・授業内容、方法等の改善・向上に関すること 4 専門教育部会 ・専門教育（実技、発表会等）に関すること 5 大学院部会 ・大学院教育に関すること 6 その他 ・入学試験に関すること ・附属音楽高等学校との連携（教育面）に関すること ・生涯教育（公開講座等）に関すること ・教育推進に係る各部局等との連絡調整に関すること 	
(略)			(略)		
<p><u>附 則</u> この規則は、平成20年1月18日から施行する。</p>					

諸 会 議

一 事 務 局 一

◎出版局・出版会

平成20年1月8日（火）

〔議 題〕

1. 年度計画の進捗状況及び平成20年度計画（案）について
2. 東京芸術大学出版会の出版方針・出版手引きについて
3. 『森鷗外と原田直次郎』の定価設定及びISBNコードについて
4. 出版企画提案書について

〔報告及び連絡事項〕

1. その他

◎役員会

平成20年1月9日（水）

〔議 題〕

1. 東京芸術大学アクションプラン（改訂版）について
2. 戦略的大学連携支援事業について
3. 平成20年度役員会、教育研究評議会、経営協議会等の日程について

〔理事室等活動報告〕

1. 理事（教育担当）
2. 理事（研究担当）
3. 理事（総務担当）
4. 理事（学長特命担当）
5. 学長特命（記念事業担当）
6. 学長特命（国際交流担当）

〔報告及び連絡事項〕

1. 平成20年度概算要求の内示について
2. 平成19年度（補正）国立大学法人施設整備費事業（内示）について
3. 東京芸術大学創立120周年記念事業募金の受入状況について
4. その他

◎安全衛生委員会

平成20年1月16日（水）

〔議 題〕

1. 衛生管理者の追加選任について

2. 東京芸術大学安全管理指針について

〔報告及び連絡事項〕

1. 巡視報告
2. その他
3. 取手校地について
4. 横浜校地について
5. 千住校地について

◎教育研究評議会

平成20年1月17日（木）

〔議 題〕

1. 東京芸術大学アクションプラン（改訂版）について
2. 教員の人事計画について
3. 教員の採用について
4. 再任用職員の任期更新について
5. プロジェクト職教員の任期更新の有無について
6. 任期更新希望者に係る審査について
7. 招聘教授の招聘について
8. 国立大学法人東京芸術大学の中期目標を達成するための計画（中期計画）の変更について
9. 東京芸術大学経営協議会規則の一部を改正する規則（案）について
10. 東京芸術大学理事室規則の一部を改正する規則（案）について

〔報告及び連絡事項〕

1. 平成20年度67歳を超える非常勤講師の委嘱について
2. 平成20年度役員会、教育研究評議会、経営協議会等の日程について
3. 東京芸術大学創立120周年記念事業募金の受入状況について
4. その他

◎役員会

平成20年1月17日（木）

〔議 題〕

1. 東京芸術大学アクションプラン（改訂版）について
2. 東京芸術大学職員就業規則等の改正等（案）について
3. 平成20年度予算編成方針（案）について
4. 国立大学法人東京芸術大学の中期目標を達成するための計画（中期計画）の変更について
5. 東京芸術大学経営協議会規則の一部を改正する規則（案）について
6. 東京芸術大学理事室規則の一部を改正する規則（案）について
7. 経営協議会の議題について

〔理事室等活動報告〕

1. 理事（教育担当）
2. 理事（研究担当）
3. 理事（総務担当）
4. 理事（学長特命担当）
5. 学長特命（記念事業担当）
6. 学長特命（国際交流担当）

〔報告及び連絡事項〕

1. 平成18年度決算余剰金の繰越承認について
2. 教育研究評議会について
3. その他

◎国際交流室

平成20年1月18日（金）

〔議題〕

1. アジア総合芸術センター（案）について
2. 大学教育の国際化加速プログラム（海外先進研究実践支援）の推薦者の扱いについて
3. 平成19年度年度計画進捗状況と平成20年度年度計画の策定について
4. 平成20年度東京芸術大学芸術国際交流基金による事業について
5. 日中韓芸術大学交流事業の事業報告書について

〔報告及び連絡事項〕

1. 中央音楽学院（中国）からの本学訪問日程変更について
2. 台湾の大学との国際交流について
3. 中国吉林芸術学院動画学院からの交流申し入れについて
4. その他

◎企画・評価室

平成20年1月23日（水）

〔議題〕

1. 中期目標期間の評価への対応について
2. 平成20年度計画について
3. その他

◎経営協議会

平成20年1月24日（木）

〔議題〕

1. 東京芸術大学アクションプラン（改訂版）について
2. 平成20年度予算編成方針（案）について
3. 東京芸術大学職員就業規則等（案）について
4. その他

〔報告及び連絡事項〕

1. 平成20年度概算要求の内示について

2. 平成18年度決算剰余金の繰越承認について
3. 平成19年度（補正）国立大学法人施設整備費事業（内示）について
4. 国公立五芸術大学連携協定について
5. 東京芸術大学出版会について
6. 東京芸術大学外国語名称について
7. 平成19年度寄附金受入状況について
8. 東京芸術大学創立120周年記念事業募金の受入状況について
9. 平成20年度役員会、教育研究評議会、経営協議会等の日程について
10. その他

◎役員会

平成20年1月24日（木）

〔議題〕

1. 東京芸術大学アクションプラン（改訂版）について

〔理事室等活動報告〕

1. 理事（教育担当）
2. 理事（研究担当）
3. 理事（総務担当）
4. 理事（学長特命担当）
5. 学長特命（記念事業担当）
6. 学長特命（国際交流担当）

〔報告及び連絡事項〕

1. 就業規則改正説明会について
2. 経営協議会について
3. 平成19年度寄附金受入状況について
4. その他

◎研究推進室

平成20年1月24日（木）

〔議題〕

1. 東京芸術大学の研究者の行動規範の策定について
2. 外部資金の間接経費の有効な活用方法等について
3. 舞台芸術に関する知的財産のあり方に関するWGの設置について
4. 平成19年度年度計画の進捗状況と平成20年度年度計画の策定について

〔報告及び連絡事項〕

1. 東京芸術大学における研究活動の不正行為等に関する体制整備等について
2. 平成20年度「グローバルCOEプログラムの公募」について
3. 平成20年度科学研究費補助金応募状況について
4. 府省共通研究開発管理システム（e-Rad）運用開始について

5. 共同研究における発明等創作届について

◎広報室

平成20年1月28日(月)

〔議題〕

1. 教員・学生の展覧会・演奏会・イベント情報管理システムについて
2. 平成19年度計画の進捗状況および平成20年度計画(案)について
3. 本学公式Webサイトのトップページに掲載する写真について

〔報告及び連絡事項〕

1. 大学紹介DVDの制作について
2. The Saatchi Gallery(英国)への本学情報の登録について
3. 卒業・修了制作作品集の本学公式Webサイト掲載について
4. その他

— 美術学部 —

◎美術学部人事委員会

平成20年1月8日(火)

〔議題〕

1. 平成19年度教員人事計画書の変更について

◎美術学部教務委員会

平成20年1月8日(火)

〔議題〕

1. 学生の身分異動について
2. 平成20年度非常勤講師の採用について
3. 平成20年度67歳を超える非常勤講師の採用について
4. 担当教員の交代について
5. 平成19年度アンケート実施対象授業について
6. カリキュラムの変更について
7. 平成20年度学事歴について
8. 平成20年度公開講座について
9. 平成20年度リサーチアシスタント・ティーチングアシスタントの採用計画について

◎美術学部運営委員会

平成20年1月8日(火)

〔議題〕

1. 暫定評価に係る重点領域とその研究業績について
2. 取手校地の将来計画について
3. 石膏像のクリーニングについて
4. 奨学寄附金の受入について

5. その他

〔報告及び連絡事項〕

1. リサーチセンターについて
2. 美術学部運営委員会及び人事委員会に規定する教授の取り扱いに関する申合せ(案)

◎美術学部入試運営委員会

平成20年1月10日(木)

〔議題〕

1. 平成20年度大学院美術研究科(修士・博士)入学志願者数について
2. 障害のある入学志願者の事前相談について
3. 博士入試の語学試験について

◎大学院美術研究科委員会

平成20年1月10日(木)

〔協議事項〕

1. 学生の身分異動について
2. 平成20年度大学院(修士第2期、博士)入試の志願者数について
3. 特別聴講学生の受け入れについて
4. その他

◎美術学部教授会

平成20年1月10日(木)

〔協議事項〕

1. 教員人事について
2. 言語・音声トレーニングセンター長候補適任者の選出について
3. 人事委員会委員(学部委員)の選出について(投票)
4. 平成19年度教員人事計画書の変更について
5. 平成20年度67歳を超える非常勤講師の委嘱について
6. 平成20年度公開講座実施計画書(案)について
7. その他

〔報告事項〕

1. 理事報告
2. 各種委員会等報告
 - ◆ 国際交流室会議(12月14日)
 - 美術学部国際交流部会(1月9日)
 - ◆ 企画・評価室会議(12月18日)
 - 取手校地運営委員会(12月20日)
 - ◆ 出版局・東京芸術大学出版会会議(1月8日)
 - 教務委員会(1月8日)
 - ◆ 教育研究評議会(12月20日)
 - 人事委員会(1月8日)
 - 運営委員会(1月8日)
 - 入試運営委員会(1月10日)

3. 教員の海外渡航について
4. 奨学寄附金の受入について
5. その他

〔連絡事項〕

1. 最終講義のご案内
2. 平成20年度美術学部会議等日程(予定)について

◎美術学部学生生活委員会

平成20年1月17日(木)

〔議題〕

1. 取手Art Path 2007の決算報告について

◎美術学部附属古美術研究施設運営委員会

平成20年1月18日(金)

〔議題〕

1. 附属古美術研究施設の現状について
2. 附属古美術研究施設の今後について

◎美術学部卒展運営委員会

平成20年1月21日(月)

〔議題〕

1. 共用スペースの仕様について
2. 平成19年度作品買上・プランタン賞について
3. 卒展会期中における大学美術館の会場当番について

◎写真センター運営委員会

平成20年1月23日(水)

〔議題〕

1. 次期センター長選出
2. 次期教育研究助手候補者および非常勤講師の採用について
3. 平成19年度写真センター運営報告
4. 平成19年度写真センター経費支出報告
5. 平成20年度写真センター予算案
6. 今後の写真センターの運営について

◎取手校地運営委員会

平成20年1月31日(木)

〔議題〕

1. 取手校地の今後について
2. 野外・公共スペース展示制作許可について
3. 共通工房使用状況について
4. M1ユニットについて

— 音楽学部 —

◎音楽学部運営会議(入試)

平成20年1月10日(木)

〔審議事項〕

1. 「平成20年度 学部及び博士後期課程」入学者数配分(案)について
2. 平成21年度「学部・別科」入試課題曲発表日程等の決定について
3. 平成21年度「大学院(修士)」入試日程の決定について
4. 平成21年度「修士(作曲・外国人留学生)」「研究生」「博士」「科目等履修生(外国人履修生)」入試日程の決定について
5. 平成21年度「学部・別科」入試日程の決定について
6. 平成20年度「博士」「外国人留学生修士」入試に係る試験問題チェック教員(案)について
7. 平成20年度「学部・別科」入試に係る試験問題チェック教員(案)について
8. 平成20年度「外国人留学生修士(声楽研究分野)入学志願者」に係る出願資格審査について

〔依頼事項〕

1. 平成20年度「学部・別科」「外国人留学生修士」「博士」入試に係る「試験官」及び「伴奏者・聴音補助者」の選出について
2. 平成22年度「大学院(修士課程)」入試日程(案)について

〔報告及び連絡事項〕

1. 「大学入学者選抜における出題・合否判定ミス等の再発防止について」(文科省通知)
2. 「試験問題の一部差し替え措置の実施について」(大学入試センター)
3. 平成20年度 学部入学試験に係る採点用紙の変更について
4. 平成20年度「学部・別科」入試の願書受付期間について
5. 平成21年度大学入試センター試験実施日

◎音楽学部教務委員会・学位委員会

平成20年1月10日(木)

<教務委員会>

〔審議事項〕

1. 平成19年度音楽学部特別講座の実施について
2. 音楽学部規則の一部を改正する規則(案)について
3. 音楽学部早期卒業規則(案)について

4. カリキュラム改訂について
5. 音楽学部教務委員会規則（案）について
6. 音楽環境創造科カリキュラムに係る先端芸術表現科単位の読み替えについて
7. 交流科目の廃止について
8. 休日のホール使用について

〔依頼事項〕

1. 後期試験等の成績提出期限について
2. 平成20年度履修便覧（学部・修士・博士）について
3. 平成20年度「授業計画書（シラバス）」の原稿について
4. 平成20年度学事暦（案）について
5. 平成20年度授業時間割表の校正について
6. 平成19年度卒業・修了作品の買い上げについて
7. 平成20年度実技レッスン面談日について

〔報告事項〕

1. 平成20年度副科実技履修希望状況について
2. 音楽学部特別講座の実施報告について

＜学務委員会＞

〔審議事項〕

1. 課程博士学位論文等審査委員会の審査結果について
2. 課程博士学位論文等審査委員会の設置について
3. 「大学院博士後期課程音楽文化学研究領域音楽音響創造研究分野・芸術環境創造分野」の新設に伴う研究指導内容の確認について
4. 博士リサイタルの実施について

〔依頼事項〕

1. 学位論文（製本）未提出者について

◎音楽学部芸術活動推進委員会

平成20年1月10日（木）

〔議題〕

1. 後援名義の使用許可について
2. 演奏依頼
3. 音源使用願について
4. 奏楽堂でのコンサートのテレビ放映の可能性について
5. 藝大主催演奏会の演奏録音物に関する取り扱いについて
6. その他

〔報告及び連絡事項〕

1. 各科・学生オーケストラ運営委員会・チェンバーオーケストラ運営委員会・管弦楽研究部・オペラ研究部・音研センター・演奏芸術センター報告

2. その他

〔演奏会終了報告〕

1. 木曜コンサート
2. 「大学地域開放事業」御徒町台東中学校吹奏楽指導
3. 期待の音大生によるアフタヌーンコンサート
4. 天皇誕生日祝賀レセプションによける国歌独唱
5. Atorionワンコインコンサートvol.6クリスマススペシャル
6. 創立120周年記念演奏会
7. 平成19年度取手市小・中学校と交流事業
8. 奏楽堂演奏会

◎音楽学部教授会（含・研究科委員会）

平成20年1月10日（木）

〔議題〕

1. 言語・音声トレーニングセンター長候補者について
2. 東京芸術大学教育研究評議会評議員の選出について（投票）
3. 課程博士の学位授与について（投票）
4. 寄附金等の受け入れについて
5. 受託研究の受け入れについて

〔報告〕

- 理事
- 学部長
 1. 平成20年度音楽学部予算について
 2. その他
- 評議員

教育研究評議会（12月20日）
- 各種委員会
 1. 運営会議（入試）（1月10日）
 2. 教務委員会・学位委員会（1月10日）
 3. 芸術活動推進委員会（1月10日）
 4. チェンバーオーケストラ運営委員会（1月7日）
 5. 研究担当理事所掌室会議
 6. 総務担当理事所掌室会議
 7. 学長特命所掌室会議
- 附属音楽高等学校長
- 言語・音声トレーニングセンター長
- 演奏芸術センター長

〔報告及び連絡事項〕

1. 大学入試センター試験追試験監督者説明会
2. 演奏会
3. 平成20年度会議予定について

◎音楽学部運営会議（運営・人事）

平成20年1月24日（木）

〔人 事〕

1. 選考会議の進捗状況について
2. 昇任人事について
3. 附属高校主幹教諭の配置について
4. 転籍に伴う教員の任期の設定について
5. その他

〔運 営〕

1. 平成20年度の指揮科・指揮体制について
2. 平成20年度TA計画について
3. 平成20年度公開講座計画について
4. 平成19年度年度計画の12月31日現在の進捗状況及び平成20～21年度年度計画の素案について
5. 平成20年度概算要求事業について
6. 平成20年度文科省「大学教育の国際化加速プログラム」（「海外先進研究実践支援」）について
7. その他

◎音楽学部芸術活動推進委員会

平成20年1月24日（木）

〔議 題〕

1. 後援名義の使用許可について
2. 演奏依頼
3. 「藝大とあそぼう」における演奏画像及び音源の使用について
4. 奏楽堂でのコンサートのテレビ放映の可能性について
5. 藝大主催演奏会の演奏録音物に関する取り扱いについて
6. その他

〔報告及び連絡事項〕

1. 平成20年度藝大定期オーケストラ新卒業生紹介演奏会について
2. 平成20年度奏楽堂モーニングコンサートについて
3. 各科・学生オーケストラ運営委員会・チェンバーオーケストラ運営委員会・管弦楽研究部・オペラ研究部・音研センター・演奏芸術センター報告
4. その他

〔演奏会終了報告〕

1. 平成19年度学習院初等科邦楽鑑賞教室
2. 木曜コンサート
3. 期待の音大生によるアフタヌーンコンサート
4. 平成19年度旧奏楽堂デビューコンサート

◎音楽学部教務委員会・学位委員会

平成20年1月24日（木）

<教務委員会>

〔審議事項〕

1. 音楽学部規則の一部を改正する規則（案）について
2. 音楽学部早期卒業内規（案）について
3. 音楽学部教務委員会要項（案）について
4. 平成20年度履修便覧（学部）及びカリキュラム改訂について
5. 新規授業科目開設届等について
6. 平成19年度学位記等授与代表者の選出科について
7. チェンバーオーケストラの名称統一について

〔依頼事項〕

1. 平成20年度授業時間割表の再校正依頼について

〔報告事項〕

1. 音楽学部特別講座の実施報告について

<学務委員会>

〔審議事項〕

1. 課程博士学位論文等審査会設置の変更について
2. 平成20年度履修便覧（修士）について
3. 平成20年度履修便覧（博士）について
4. 博士リサイタルの実施について
5. 平成19年度大学院音楽研究科（修士課程）学位審査会演奏日程（案）について

— 大学院映像研究科 —

◎大学院映像研究科教授会

平成20年1月10日（木）

〔議 題〕

1. 学内規則等の改正について
2. 「年度計画」について
3. 人事計画（採用・更新・昇格等）について
4. 言語・音声トレーニングセンター長候補者について
5. 67歳を越える非常勤講師の採用について

〔報告及び連絡事項〕

1. 平成20年度概算要求の内示について（アニメーション専攻）
2. 平成20年度入学試験の志願者数について
3. メディア映像専攻「修了制作展 OS1」の開催について
4. 授業科目成績、修士学位審査報告書の提出について

5. 日本学生支援機構奨学金の返還免除申請について
6. 映像研究科パンフレット（改訂版）について

— 大学美術館 —

◎大学美術館運営委員会

平成20年1月17日（木）

〔議題〕

1. 大学美術館点検・評価委員会委員の交替について
2. 平成19年度 年度計画の進捗状況(12/31現在)について
3. 平成20年度年度計画（素案）について
4. 「バウハウス・デッサウ」展の入館料について
5. その他

〔報告及び連絡事項〕

1. 平成20年度概算要求に係る重点事項の概要（内示）
2. 「東京芸術大学大学院美術研究科博士審査展」入館者数
3. 「住景 益子義弘展」〔陳列館〕入館者数
4. その他

— 藝大アートプラザ —

◎藝大アートプラザ企画推進室

平成20年1月17日（木）

〔議題〕

1. 企画提案書について
2. 平成19年度年度計画の進捗状況等及び平成20年度計画の素案について
3. その他

〔報告及び連絡事項〕

1. 藝大アートプラザ運営業務報告（平成19年12月度）
2. 平成20年度上半期までの営業日について
3. 展覧会企画「工藝考」開催によるオープニング・レセプションのための藝大アートプラザ中庭使用について
4. その他

大学日誌

自 平成20年1月1日 ～ 至 平成20年1月31日

月 日	曜	行 事
1. 4	金	新年賀詞交歓会、創立120周年記念音楽祭（～1／6）
8	火	出版局・出版会、(美) 人事委員会、(美) 教務委員会、(美) 運営委員会
9	水	役員会
10	木	「国際交流デザイン展－日本・イギリス・韓国－」（～1／20）、(美) 入試運営委員会、大学院美術研究科委員会、(美) 教授会、(音) 運営会議（入試）、(音) 学生生活委員会、(音) 教務委員会・学位委員会、(音) 芸術活動推進委員会、(音) 教授会（含・研究科委員会）、(映) 教授会
16	水	安全衛生委員会
17	木	教育研究評議会、役員会、(美) 学生生活委員会、大学美術館運営委員会、藝大アートプラザ企画推進室
18	金	先端芸術表現科卒業修了作品展（～1／27）、国際交流室、(美) 附属古美術研究施設運営委員会
21	月	「技と工芸感」展（～2／3）、(美) 卒展運営委員会
23	水	企画・評価室、(美) 写真センター運営委員会
24	木	経営協議会、役員会、研究推進室、(音) 運営会議（運営・人事）、(音) 芸術活動推進委員会、(音) 教務委員会・学位委員会
26	土	『夕映え少女』劇場公開、「黒田清輝から藤田嗣治まで～パリに学んだ洋画家たち～」展開幕（10／24～）
28	月	広報室
30	水	スクエア・ピアノ修復完成返還式
31	木	取手校地運営委員会